

# 千葉大学学術成果リポジトリ の概要

附属図書館

# 千葉大学学術成果リポジトリ

- 千葉大学において生み出された学術研究成果 (学術論文, プレプリント, テクニカル・レポート, 学位論文, 会議発表資料等) を電子的な形態で蓄積, 保存し, 学内外に公開するためのインターネット上の発信拠点 (サーバ)。
- Repository
  - 倉庫, 貯蔵庫, 宝庫, 納骨堂

# 世界のリポジトリ

- Institutional Repository = 機関リポジトリ
- <http://archives.eprints.org/eprints.php>
  - 393リポジトリ(2005.3.14現在)
- 代表的なリポジトリ
  - CODA(カリフォルニア工科大学)
    - <http://library.caltech.edu/digital/>
  - DSpace@MIT(マサチューセッツ工科大学)
    - <https://dspace.mit.edu/index.jsp>
  - eScholarship(カリフォルニア大学)
    - <http://repositories.cdlib.org/escholarship/>

# 経緯

- 平成14年度
  - 館内ワーキンググループの設置
  - 国内外の動向調査
  - 学内教官を対象としたアンケート調査実施
  - プロトタイプ・システムの開発着手
- 平成15年度
  - 「学術情報発信に関する懇談会」
  - 附属図書館長の下に「学術情報発信のための協力者会議」設置
  - 運用方針の策定, システムの改良
- 平成16年度
  - 附属図書館運営委員会の下に「学術情報発信専門委員会」設置
  - 学内合意(常任理事会, 教育研究評議会)
  - 運用開始

# 概念図

学内研究者



図書館職員



・システム運用管理  
・登録支援

登録

オープン・アクセス

一般利用者

学術研究成果

(コンテンツ)

- ・学術論文
- ・プレプリント
- ・テクニカル・レポート
- ・学位論文
- ・学会発表資料
- ・教材

電子ファイルそのもの  
+  
メタデータ(タイトル,  
著者名, キーワード等)



千葉大学の学術研究成果の  
一元的な発信窓口  
(=ショーウィンドウ)

# 期待される効果

- 研究者の皆さんにとって
  - 自らの研究成果の影響力(インパクト)の向上
  - 自らの研究成果の管理, 発信, 保存のコスト削減
- 千葉大学にとって
  - 大学としての社会に対する説明責任の履行
  - 研究機関としての知名度の向上
  - 産学連携の促進
- 社会にとって
  - 千葉大学の研究動向の迅速な把握